

## 第 29 回 Population Pharmacokinetics 研究会プログラム

日 時 平成 25 年 10 月 11 日 (金) 13:00 - 17:50

場 所 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール

### Opening Remarks

13:00 - 13:10 開会の辞 谷川原 祐介 (慶應義塾大学医学部臨床薬剤学)

### Oral Session

13:10 - 14:00 座長: 富田 純子 (大日本住友製薬株式会社)  
小上 淑子 (日本イーライリリー株式会社)

O-1 多階層生体機能モデリング・シミュレーションプラットフォームを利用した酵素誘導型薬物間相互作用シミュレータの開発

山下 富義 (京都大学 大学院薬学研究科 薬品動態制御学分野)

O-2 アセプトロールの代謝物同時モデリングに基づく SLCO2B1 遺伝子多型、民族間(日本人、韓国人)における差異に関する考察

深江 真登 (九州大学 大学院薬学府 薬物動態学分野)

O-3 Model-Based Analysis of Bioequivalence Crossover Trial using Nonlinear Mixed-Effect Modeling

船木 朋雄 (大塚製薬株式会社)

O-4 Evaluation of Absolute Bioavailability in Parallel Arm Study

貝原 徳紀 (アステラス製薬株式会社)

### Technical Session

14:00 - 14:45 座長: 笠井 英史 (サターラ合同会社)

T-1 Tools for Pharmacometrics

— PPK モデリングにおける各種解析ソフト、最新アルゴリズムの比較 —

笠井 英史 (サターラ合同会社)

野澤 健二 (富山化学工業株式会社)

Kimiko Koiwai (Sanofi Recherche & Développement)

須田 真 (株式会社ベル・メディカルソリューションズ)

田中 潤 (株式会社ベル・メディカルソリューションズ)

千村 淳 (サターラ合同会社)

14:45 - 15:00 — 休憩 —

## Debate Session

15:00 - 16:30 座長：谷川原 祐介（慶應義塾大学医学部臨床薬剤学）

### Regulator と Industry のスキマを埋める Gap Debate

新医薬品開発において母集団薬物動態解析が活用された事例について

Regulatory: 木島 慎一、永井 尚美、佐藤 玲子、井坂 弘道（医薬品医療機器総合機構）

**D-1** 採血ポイントが限られており曝露-応答解析においてシュリンケージが懸念されたケースでの解析結果の解釈について

Industry: 今井 康彦（ブリストル・マイヤーズ株式会社）

**D-2** 母集団薬物動態解析の手法による民族差(国内外の薬物動態の比較)の検討について

Industry: 植仲 和典（日本イーライリリー株式会社）、輪嶋 恵宏（塩野義製薬株式会社）

16:30 - 16:45 — 休憩 —

## Plenary Lecture Session

16:45 - 17:45 座長：矢野 義孝（京都薬科大学）

**P-1 Recent Trends in Pharmacometrics and Systems Pharmacology**

Prof. Larry Lesko (University of Florida)

## Closing Remarks

17:45 - 17:50 閉会の辞 第29回 Population Pharmacokinetics 研究会 事務局

18:00 - 20:00 懇親会 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 HUB 慶應日吉店